

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2023年5月31日発行

第2号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

見よ、兄弟が共に座っている。
なんという恵み、なんという喜び。

詩編 133 編 1 節

5月のすべての日程が無事に終わろうとしています。保護者の皆さま、G7サミットのための臨時休校の時を含め、ご家庭での平安を守っていただき、ありがとうございました。

また、体育大会は6月に行われますので、ご参観いただきたいと思います。

5月16日（火）に、サーロー節子さんを迎え、中学、高校の特別礼拝を行いました。2つの礼拝は、喜びにあふれ、生徒も教職員も一人ひとりがChest Upするときとなりました。サーローさんのお話の後、中学1年生の生徒が、「サーローさんは、どのような気持ちで（平和の大切さを）語っているのですか。」と質問しました。それに対して、サーローさんは、「自分の過去を引き出し、話すことはツライツライツライことです。また、伝えたいことが薄っぺらくなり、くやしい思いをしたこともあります。」と答えられ、続けて「私が発信しなければ誰が話すのだ。私には、責任がある。亡くなられた人の命を無意味にすることはできない。」と自分の心を探りながら語ってきたと答えられました。質問した生徒は、「サーローさんの大切にされていることがよくわかりました。だから、多くの人に伝わっているのだと思います。私もそのように歩んでいきたい。」と言いました。私は、心がふるえました。そこにいる者が一つになることを感じました。この礼拝の様子（動画）は、保護者、生徒のみなさんに配信いたしますので、どうぞご覧になってください。

サーローさんが言われたように、毎日の学びや出会いを大切にし、わたしたちも広島女学院の一員として、しっかり歩んで行きたいと思います。

（校長）



サーロー節子さん 特別礼拝

特別礼拝に先立ち、新年度を迎えた4月から5月上旬にかけ、全生徒がドキュメンタリー映画「ヒロシマへの誓い ～サーロー節子とともに～」を視聴する機会を持ちました。生徒が任意で寄せた感想からは、サーローさんの信念と行動力に感動を覚え、発する言葉ひとつひとつを心に刻み、同じ女学院で学んでいることを誇りに思うと同時に、語り継ぐことの重要性も映画からしっかり学んだことが読み取れました。

そして、満を持して迎えた5月16日。礼拝の前の「読書の時間」にご著書の「光に向かって這っていけ」の抜粋を読みました。いよいよ特別礼拝。最初に320番「主よみもとに近づかん」を歌いました。この讃美歌はサーローさんにとっては特別な意味を持ちます。被爆直後、次々と亡くなっていく同級生のために生きながらえた友達と歌ったのだそうです。歌い終わると、サーローさんはとても感慨深い表情で、少しの沈黙のあと、「今、胸がいっぱいでどのようなことばで私の心のなかの思いを伝えていいか戸惑っています」と始められました。そして、「私もあなたたちと同じように、何十年か前、ひとりの生徒としてここで初めてキリスト教に出会いました」と続けられました。中高時代の思い出、被爆当時のこと、ICAN（核兵器廃絶キャンペーン）の世界中の仲間と核兵器禁止条約成立に向けて活動したこと。活動するなかで被爆体験を話したり、様々なことを聞かれたりすることは今でも辛いそうですが、それでも語り続けるのは人とのつながりに支えられてきたからなのだそうです。また、女学院で出会ったキリスト教から隣人愛や命の尊厳を学び、平和実現はそこから始まると力強く言われました。最後に「過去を忘れないこと、過去から学ぶこと、これがあなたたちの未来につながります」としめくくられました。



質疑応答では高1生が「東京の大学生と話をしたとき『核廃絶は可能なのか』と聞かれました。サーローさんならどう答えますか」と尋ねました。サーローさんは「核廃絶はできるかできないかではない。するかしらないかだ。あのようなことは二度と起こしてはいけない。非人道的な兵器を許すわけにはいかない。廃絶しなければならないのです」と答えてくださいました。

中学の礼拝ではノーベル平和賞受賞記念のメダルを見せて下さいましたが、もっと近くで見たい中学生が応接室に押しかけ、メダルを触らせていただいたり、握手をしてもらったりと、さながらロックスターのようで、サーローさんもニコニコして生徒を見つめておられました。

女学院をあとにする直前には慰霊碑に献花されました。そして、原爆によって死没した同級生ひとりひとりのお名前を愛おしそうに指でなぞり、絞り出すように「胸がいっぱいです」とおっしゃいました。

5月16日は広島女学院にとって、かけがえのない日となりました。この学校がつないでくれる過去と現在。そしてどんなに歳が離れていても、ともに未来を築く「女学院生」であることにあらためて感謝し、それぞれのところにあって、ひとりひとりに授けられた賜物を生かし、仕え合える者でありたいものです。

(高校教頭)



高1オリエンテーション

4月26日(水)から27日(木)にかけて、グリーンピアせとうちでオリエンテーションを行いました。合宿の目的は「これまでの自分を振り返り、自分だけの進路について考える」です。高校生活をスタートさせるにあたり、自分の進路を実現するためには、これからどのように学校生活を送ればよいかを二日間かけて考えました。



初日は開会礼拝の後、進路指導部長の久保先生から、日々の授業において必要な心構えについて話を聞きました。その後グリーンピアせとうちに向かい、昼食後からは各クラスに分かれて、春休みに書いた自分史や保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つめる時間をもつとともに、翌日にクラスで発表する「自分を語る」の原稿作りをしました。夕食後には、卒業生二人を招いて、どのように進路を決定したかについて話を聞きました。

二日目は、前日に作成した原稿をもとに、各クラスで一人ずつ発表を行いました。自身について語るとともに、友人の話に真剣に耳を傾けることで、これからの高校生活をどう送るか、自分の将来をどのように決定していくかについて、じっくりと考えることができました。



この合宿で学んだことを糧に、これから充実した学校生活を送ってくれると信じています。保護者の皆様にはお忙しい中、思いのこもった手紙を書いていただき感謝いたします。

(高1学年主任)

中1オリエンテーション

4月27日(木)から28日(金)に中1は初の宿泊行事となる学年合宿を「グリーンピアせとうち」にて行いました。この合宿に向けた準備をLHRなどで進めていたこともあり、出発前から生徒たちは期待に胸を躍らせていました。

ゲーンズホールにて行われた開会礼拝では、ゲーンズ先生の生涯や広島女学院の歴史について学び、合宿が最後まで安全に、そして楽しいものとなるよう祈りました。その後、生徒たちはバスに乗り込み、出発！最初に、比治山にあるゲーンズ先生のお墓にて墓前礼拝を行いました。心を込めてお祈りと讃美歌294番をささげるその姿はとても素敵でした。



グリーンピアせとうちに到着すると、生徒たちはクラスごとに分かれ、同級生インタビューに取り組みました。自分が用意してきた質問をもとに同級生と1対1でインタビューをすることで、同級生についてのことだけではなく、今まで知らなかった自分のことも発見することができました。タベのつどいでは、礼拝を終えた後、みんなで「君は愛されるために生まれた」というゴスペルを歌いました。生徒たちの歌声は、お互いの存在を認め合う温かさを実感させるものとなりました。



そして2日目には同級生インタビューをふまえて作った原稿をもとに、「自分を語る」に挑みました。クラスメイトの前で一人ずつ発表をし、これから一年間を共に過ごす仲間をより深く知ることができました。クラスマッチ「なんでもリレー」では、強風にも負けない白熱

の戦い！最後のBBQでも、協力しながら楽しい思い出を作ることができました。

合宿で得た経験と仲間たちとの絆を糧に、より充実した学校生活を送ることができますように。

(中1学年会)

《中2》遠足

4月27日(木)、中2の遠足はチャレンジキャンプに備えて、安佐北区飯室の青少年野外活動センターで飯盒炊爨をしました。写真の通り、薪を割って火をおこし、飯盒でご飯を炊きました。今回は時間が短いので、おかずはお湯を沸かして、レトルト食品を温めてご飯にかけて食べました。本番のチャレキャンではカレーやハヤシライスを作りますよ。

中2が始まってから、「話をする友達がいない」と涙目で過ごしていた人も、班の人とすっかり打ち解けて作業をしていました。さすがにみんなの食べものがかかっていると、強いですね。

(中2 HR係)



《中3》遠足

中3は山口県にある秋吉台自然動物公園サファリパークへ行ってきました。天候にも恵まれ、動物ふれあいパークではカンガルーや羊、ウサギなどとふれあい癒しをもらいました。また、エサやりバスに乗車し向かったサファリゾーンでは、熊やライオン、トラなどに近距離でのエサやり体験をしました。トラやライオンのエサを食べる様子を



間近で見るのは迫力満点で、生徒も教員も大興奮でした。制限の多かった昨年までの遠足とは違い、非日常の大自然の中ということもあり、シートやベンチに座りお弁当をクラスメイトと食べた時間は何よりも楽しかったようです。

(中3 学年主任)

《高2》リベンジ「チャレンジ」キャンプ

高2は中2で行くはずだったチャレンジキャンプ(恐羅漢にて)に行ってきました。

中2は広島イチ高い山に登るのが「チャレンジ」ですが、登るはずだった山を横目に、今回は各班、「飯盒でおいしい炊き込みご飯を作ること」に「チャレンジ」しました。火の起こし方から、炊き込みご飯のレシピまで、各班で調べ、おいしい炊き込みご飯ができました。お肉やソーセージを焼いてサイドディッシュまで用意しているグループもありました。料理を作って、炊





事場の片付けをするとあっという間にバスが発車する時間になってしまいましたが、自然の中で協力して1つのことに挑戦し、目的を果たせた良い一日となりました。一緒に材料や調味料を用意して頂いたご家族の皆様にも感謝申し上げます。

(高2学年主任)

《高3》遠足

高3は気持ちの良い天候のもと尾道を訪れました。最初に尾道市立美術館で絵を鑑賞した後、それぞれのグループで散策を楽しみました。事前に下調べや予約したお店でランチをしたり、カフェを楽しんだり、尾道ならではの風景と共に



1日を満喫することができました。勉強も忙しい日々ですが、つかの間の癒しの時間になったことと思います。



(高3学年会)

PTA総会・学級懇談会

2023年度のPTA総会が5月13日(土)に行われました。この日は、午後から中1・中2・中3・高1・高2は学級懇談会、高3は学年集会がありました。

総会は、11時から始まりました。昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。毎年のことですが、女学院でのさまざまな活動はPTAの方々に支えていただいていることを実感しています。

昨年度役員の皆様、労を惜しまずPTA活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。新年度の役員を引き受けてくださった皆様、ご多忙な中をありがとうございます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。(中学教頭)



生徒会春の公演

①中学演劇部

4月22日(土)に「しまのこ」(野澤愛祈 作)を上演しました。

春の公演は、今の中3が最高学年となり新しい体制で行う初めての公演です。公演を行うためには、台本決め、キャスト決め、演出、衣装・小道具の準備、照明・音響決めなど、やることがたくさんある中、もちろん演技の練習もしなければなりません。ほぼ毎日部活の時間がありますが、なかなか思うように時間配分できなかつたり集中力が切れたりもしました。春休みになってもなかなか台本が覚えきれず、一週間前のリハーサルで演技が止まったり、前日に照明の調整をし直したりして、当日まで「本当に公演ができるのか？」と顧問・部員ともに不安に思っていま

した。しかし、コーチの森永先生の熱いご指導とサポート、部員全員の集中力によって、何とか乗り切ることができました。

公演は久しぶりの一般公開となり、たくさんの方にお越しいただき、部員の励みになりました。今回の公演で部員それぞれ、新たに成長することができたと思います。ありがとうございました。
(中学演劇部顧問)

②高校演劇部

4月22日(土)に成井豊作「ヒア・カムズ・ザ・サン」を上演しました。場面転換の多さや登場人物の心情の表現の難しさを乗り越えようと、試行錯誤しながら部員全員で準備を進めてきました。文字しかない台本を声で、体で、音響照明でどのように表現して上演するか。一人一人がその答を見つけられた舞台になったことと思います。公演までの道のりを応援してくださった方々、ご来場くださった方々に感謝を申し上げます。
(高校演劇部顧問)

③高校邦楽部

4月22日(土)の午後、高校チャペルで『邦楽部 春の演奏会』を開催しました。例年春休みに開かれる観桜会が今年も中止となりましたが、家族や友達、先生方に、琴の音色を通して春を感じていただきたいという部員の熱い想いで実現した演奏会でした。

『祭花』『手・て・テ』という本格的な琴の曲から、『夜空ノムコウ』『春よ、来い』『上を向いて歩こう』といったポップスまで、部員一人ひとりが日ごろの練習の成果を本番で発揮することができました。

ご指導をしてくださっている先生方、お忙しい中ご来場くださった皆さまに支えられ、演奏会を終えることができました。心より感謝申し上げます。
(高校邦楽部顧問)

④中高吹奏楽部

4月23日(日)に吹奏楽部は第36回定期演奏会を行いました。

第1部は恒例の「鷺の舞うところ」で幕を開けました。夏のコンクールで演奏する曲のあと、「千と千尋の神隠し」で終了。第2部は毎年大好評の「Join メドレー」。今回のテーマは“紅白”ということで、紅組白組から歌手（もちろん部員が扮している）がぞくぞくと登場し、歌やダンスで観客を沸かせました。高3の素晴らしいアイディアで、プログラムの表紙を赤、裏を白にしていたので、歌合戦のあと、観客の皆様に、赤白を投票してもらいました。結果は白組の圧勝でした。第3部では、ラプンツェルメドレーで、高3が5年間で磨いた演奏技術を、のびのびと披露してくれました。

この演奏会をもって、高3の13名は引退となりました。5年間で、思うようにならないこともたくさんあったはずですが、無事引退の日を迎えることができ、顧問としても感無量です。

当日は400名以上のお客様にご来場いただき、部員顧問一同、感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の皆様におかれましても、会場を一緒に盛り上げていただき、大変感謝しております。日

頃の活動へのご理解、ご協力に関しても、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。
(吹奏楽部顧問)

⑤中高マンドリン部 第43回定期演奏会

4月29日(日)にマンドリン部では第43回定期演奏会を開催しました。

第1部は、『カヴァレリア・ルスティカーナ』より間奏曲、「歌劇『椿姫』幻想曲」を全員で演奏し、第2部は高3の7名によるアンサンブルでした。第2部はどの曲も指揮なしで演奏するには難しい曲でしたが、7人で頑張って息を合わせて演奏しており、その姿はまるで会話をしているかのようにテンポも良く、聴いていてとても居心地の良くなる演奏でした。5年間共に音楽を作ってきた7人での演奏からは、第1部とはまた違ったマンドリン演奏の魅力を感じていただけたと思います。第3部では、「英雄行進曲『イタリア』」、「小組曲『降誕祭の夜』」、「組曲『北欧のスケッチ』」を第1部と同様、部員全員で演奏しました。昨年の5月から自分たちで音楽を作り上げていくという意識を常に持ちながら一生懸命練習を重ねてきました。このメンバーでの演奏が少しずつ形になり、成長していく様子を見ていて、指揮者を中心とした高3生の頼もしさを常に感じておりました。今回の演奏会では、これまでの練習の成果を十分に発揮し、堂々と演奏する部員の姿を皆様にお見せすることができたのではないかと思います。

この演奏会にご来場くださった皆様、支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。次は7月の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて精一杯頑張りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



(マンドリン部顧問)

保健室だより(2)

これから梅雨時期を迎え、本格的な夏へと向かっていきます。雨の降る日は肌寒く、晴れの日には蒸し暑くなり、体調を崩しやすくなります。また急に気温が高くなると、体がまだ高温多湿に慣れていないため、熱中症にかかる危険性が高まってきます。今のうちに軽い運動や入浴などで汗をかき、体を暑さに少しずつ慣れさせること(昇熱順化)や、栄養バランスのとれた食事を取り、十分な睡眠をとって体調を整えていくこと、こまめな水分補給の習慣をつけておいていただければと思います。

6月から制服が夏服へと衣替えします。暑い日には教室の冷房も稼働し始めます。外の暑さと教室の涼しさで体温調節が難しくなってきます。カーディガンを用意して、すぐに体温調節ができるようにしておきましょう。
(保健室)

心の健康（２）

梅雨は空気がジメジメし、気持ちも沈みがちです。最近、ぐっすりと眠れていますか。

眠りは、一晩に「深い時」と「浅い時」を繰り返しています。深い眠りから浅い眠りに移るのは、眠っているながら、起きている時の記憶を整理しているらしいのです。そのおかげで、起きている時の脳の働きが活発になるのだそうです。浅い眠りが段々深くなり、再び浅くなるまでのサイクルは約90分～100分で、寝ている間に、このサイクルが4回ほどあるのが良いそうです。

ストレスが解消し、心身ともに健康な生活を送るためには、一晩に $90 \text{ 分} \times 4 \text{ サイクル} = 6 \text{ 時間}$ 。サイクルを考えながら、1日6時間はきっちり眠りましょう。

なかなか寝つけないときは、ラジオや音楽をかすかな音で流しながら寝てみましょう。音に集中することで、眠りに入りやすくなります。

（カウンセラー）



生徒の活躍

◇中学ソフトテニス部

広島市中学校ソフトテニス選手権大会 安芸中ブロック大会

・女子個人戦（4月16日）

3位 M. M・N. Kペア

5位 T. R・Y. Rペア

6位 Y. R・I. Nペア

3ペアが市大会への出場権を得ました。

・女子団体戦（5月14日）

準優勝、市大会への出場権を得ました。

（Y. R・I. Nペア、M. M・N. Kペア、N. K・K. Hペア、T. R・Y. Rペア）

◇高校卓球部

第76回広島県高等学校総合体育大会（卓球競技） 女子学校対抗 B級 第5位

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。

報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。



今月の聖句

イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。

マルコによる福音書 1章 16節～17節

イエス様が湖で働く漁師たちに「これから一緒に活動しようよ」と声をかけ、イエス様の弟子へと招く場面です。イエス様は、彼らが湖で働く様子を「御覧になりました。この御覧になるという言葉には、じっと見つめたというギリシャ語(新約聖書の原典はギリシャ語で記されています。)が使われているそうです。声をかけられた漁師たちからすれば、知らない男性に「ついて来なさい」と言われ、困惑しただろうと思います。ですが、イエス様はしっかりと弟子たちのことを見つめた上で、声をかけられているのです。広島女学院というキリスト教主義学校に連なる私たちも、もしかするとイエス様からまなざし注がれ、招かれている一人ひとりかもしれないという思いを持って日々を歩んでいきたいと思っています。

(聖書科 U. R)



6月の行事予定表

1	木	45分授業 4限まで 午後 第2次スクリーニング 中高合同行進練習 夏服更衣 教育実習(6月21日(水)まで)
2	金	
3	土	(高) 県総体 (L・総) 高1女学院大学キャンパス体験ツアー(1～4限)
4	日	
5	月	面接週間(40分授業) 中間テスト素点確認
6	火	
7	水	[NC]
8	木	
9	金	(中学) 漢字検定
10	土	
11	日	
12	月	水曜授業 [NC] [EP]
13	火	体育大会準備
14	水	体育大会
15	木	
16	金	
17	土	(高) 3, 4限 グローバル研究・成果発表会 (中L・総)
18	日	
19	月	平和を祈る週
20	火	
21	水	[NC] [EP]
22	木	
23	金	
24	土	45分授業 (総) 平和を祈る週特別礼拝
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	飲料水・水質検査 プール検査

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります